

小中学校の指導主事の皆様方へ

「『海しる』海洋教育コンテンツ」の御案内

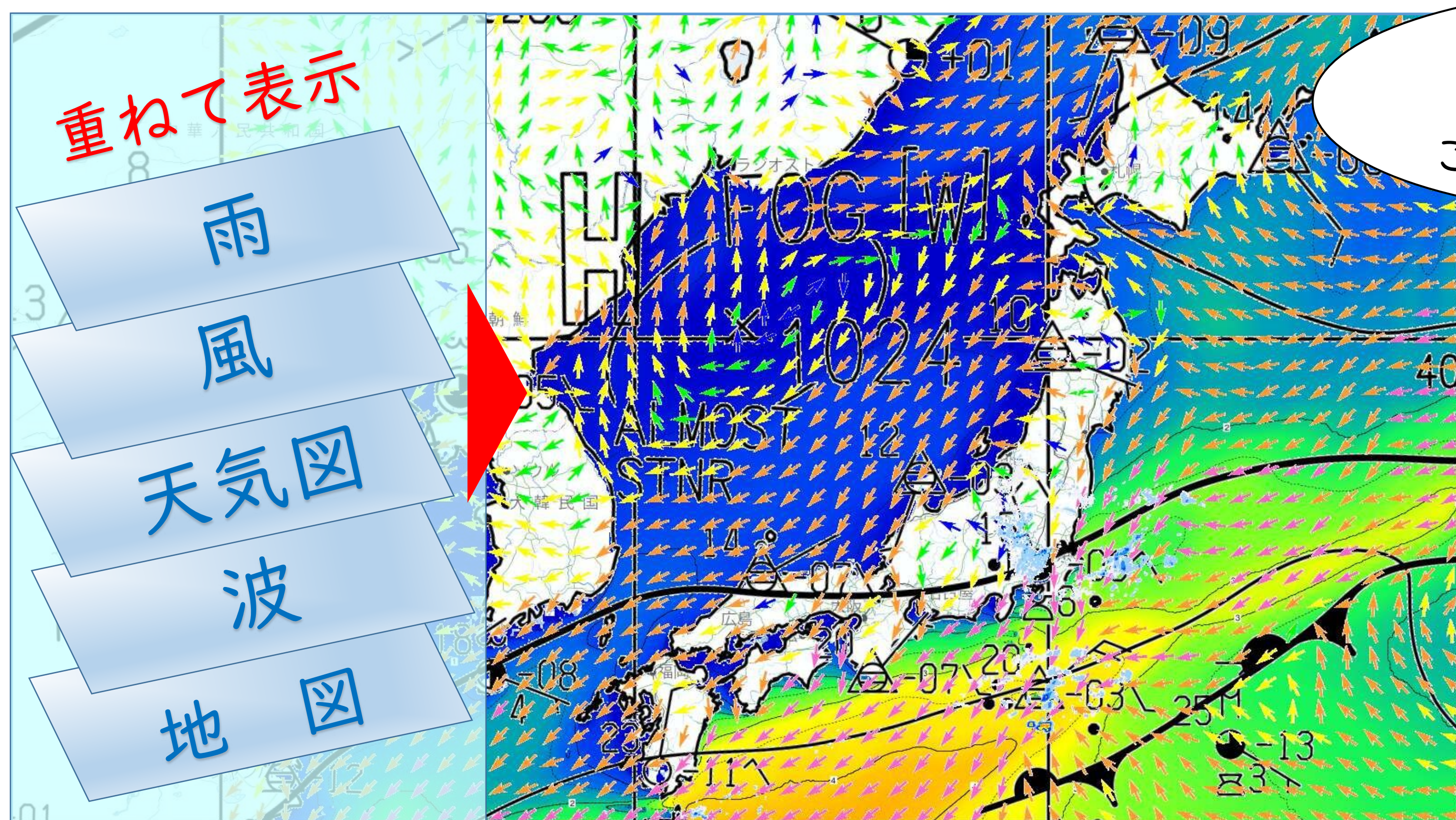
海洋状況表示システム（愛称：海しる）は、「海の今を知る」をコンセプトに、内閣府の総合調整のもと、政府機関等が保有する海洋情報を集約した情報サービスで、海上保安庁が運用しています。

「海しる」では、身近な気象・海象に関する情報から、海底火山、地震、潮汐、エネルギー、環境に関する情報まで、**理科などでの海洋の学習に関係する情報を幅広く掲載**。

これらの様々な海洋情報を**地図上に重ね合わせてビジュアル**にご覧いただくことができます。また、利用者ご自身で**地図のズームアップや情報項目の追加**が行え、**地図のカスタマイズも自由自在**。

このような「海しる」の特徴を生かし、令和4年9月には、海洋教育推進の一環として、小中学生等が「海しる」を使用して**海洋についてインタラクティブに学習**できるように「『海しる』海洋教育コンテンツ」を公開しました。

授業や学習時において、是非、本コンテンツを海洋教育の教材としてご活用ください。インターネットに接続するだけで**すぐに使用**できますので、まずはお試しくださいたく存じます。なお、詳細は次頁以降で説明しておりますので、ご参照いただければ幸いです。



地図上に様々な海の情報を重ねてご覧いただけます！



マスコットキャラクター
「うみしる」

出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成、情報提供元：国土地理院、気象庁

海の情報
は「海しる」で！



海しる

<https://www.msil.go.jp/>



「『海しる』海洋教育コンテンツ」について質問！ ①
・専用のソフトウェアやアプリのダウンロードが必要ですか？

「『海しる』海洋教育コンテンツ」はインターネットで「海しる」に接続するだけでご利用が可能です。専用のソフトウェアやアプリをダウンロードする手間や負担は不要です。

「海しる」のトップページから本コンテンツのバナーをクリックするだけですぐに始められ、立ち上がりもスムーズ。貴重な授業時間を無駄にせず、授業や学習にご利用いただけます。

また、パソコンだけでなくタブレット端末でも利用できますので、生徒の自学用など幅広い用途にご利用いただけます。

【「海しる」トップページ】 <https://www.msil.go.jp/>

The screenshot shows the 'Umi Shiru' website interface. At the top, there is a navigation menu with the following items: '海しるについて', '海しるの特徴', '操作説明', '海しるAPI', 'モニタリング海しる', and '海洋教育コンテンツ'. The '海洋教育コンテンツ' item is highlighted with a red dashed box. Below the menu is the main header with the logo '海しる' and the text '海洋状況表示システム MDA Situational Indication Linkages'. A callout bubble points to the '海洋教育コンテンツ' menu item, stating: 'こちらをクリックしてもスタートできます！'. Below the header is a paragraph of text: '「海しる（海洋状況表示システム）」は、さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できる情報サービスです。掲載情報は地形・地質、海象、気象、安全、防災、水産、海域利用・保全といった幅広い分野から200種類以上！船舶の運航管理や漁業、防災、海洋レジャー、海洋開発など多くの分野で利用可能です。'. Below this text are two buttons: '入口' and 'Enter (English ver.)'. A callout bubble points to the '入口' button, stating: 'スタート時はこのバナーをクリックするだけ！'. Below the buttons are three horizontal banners: '海しるAPI', 'モニタリング海しる', and '海洋教育コンテンツ'. The '海洋教育コンテンツ' banner is highlighted with a red dashed box. At the bottom of the screenshot, there is a callout bubble with the text '海しるの要望はこちら' and a small illustration of the blue duck character pointing towards the right. Another larger illustration of the blue duck character is at the bottom right of the page.



「『海しる』海洋教育コンテンツ」について質問！ ②
・各学年のどのような学習内容に活用できますか？

「海しる」トップページの「海洋教育コンテンツのバナー」をクリックした次のページに「『海しる』海洋教育コンテンツ」の「**教科・単元選択画面**」を用意しておりますので、参考にしてください。

この選択画面では、小学校、中学校で習う学習単元のうち、海洋に関連する単元を、**学年別（中学校社会科では地理、公民の教科別）にそれぞれ選択メニューとして表示**していますので、ご希望の学習単元を選んで授業・学習にご利用いただけます。

【教科・単元選択画面】

※以下に示した表のほかにも様々な教科等でのご活用が考えられます。

●●● 教科・単元から探す ●●●

	理科	社会／地理・公民
小学3年生	・ <u>風のはたらき</u>	・ <u>市の様子</u>
小学4年生		・ <u>都道府県の広がり</u> ・ <u>地震からくらしを守る</u>
小学5年生	・ <u>台風の動きと天気の変化</u>	・ <u>わたしたちの国土</u> ・ <u>水産業のさかんな地域</u> ・ <u>工業生産を支える輸送と貿易</u> ・ <u>わたしたちの生活と環境</u>
小学6年生	・ <u>月の形と太陽</u> ・ <u>土地のつくりと変化</u> ・ <u>環境を守る</u>	
中学1年生	・ <u>火山とともにくらす</u> ・ <u>地震にそなえるために</u>	【地理】 ・ <u>日本の山地、海岸と周辺の海、海流</u>
中学2年生	・ <u>気象の観測</u>	・ <u>日本のさまざまな自然災害</u> ・ <u>日本のエネルギーと電力</u>
中学3年生	・ <u>エネルギー資源の利用</u> ・ <u>自然環境の調査と保全</u>	・ <u>日本の漁業</u> 【公民】 ・ <u>領土をめぐる問題</u>





「『海しる』海洋教育コンテンツ」について質問！ ③
 ・どのような内容なのでしょう？

「『海しる』海洋教育コンテンツ」の「教科・単元選択画面」から学習テーマを選択（クリック）すると、そのテーマに関する「解説画面」に移ります。

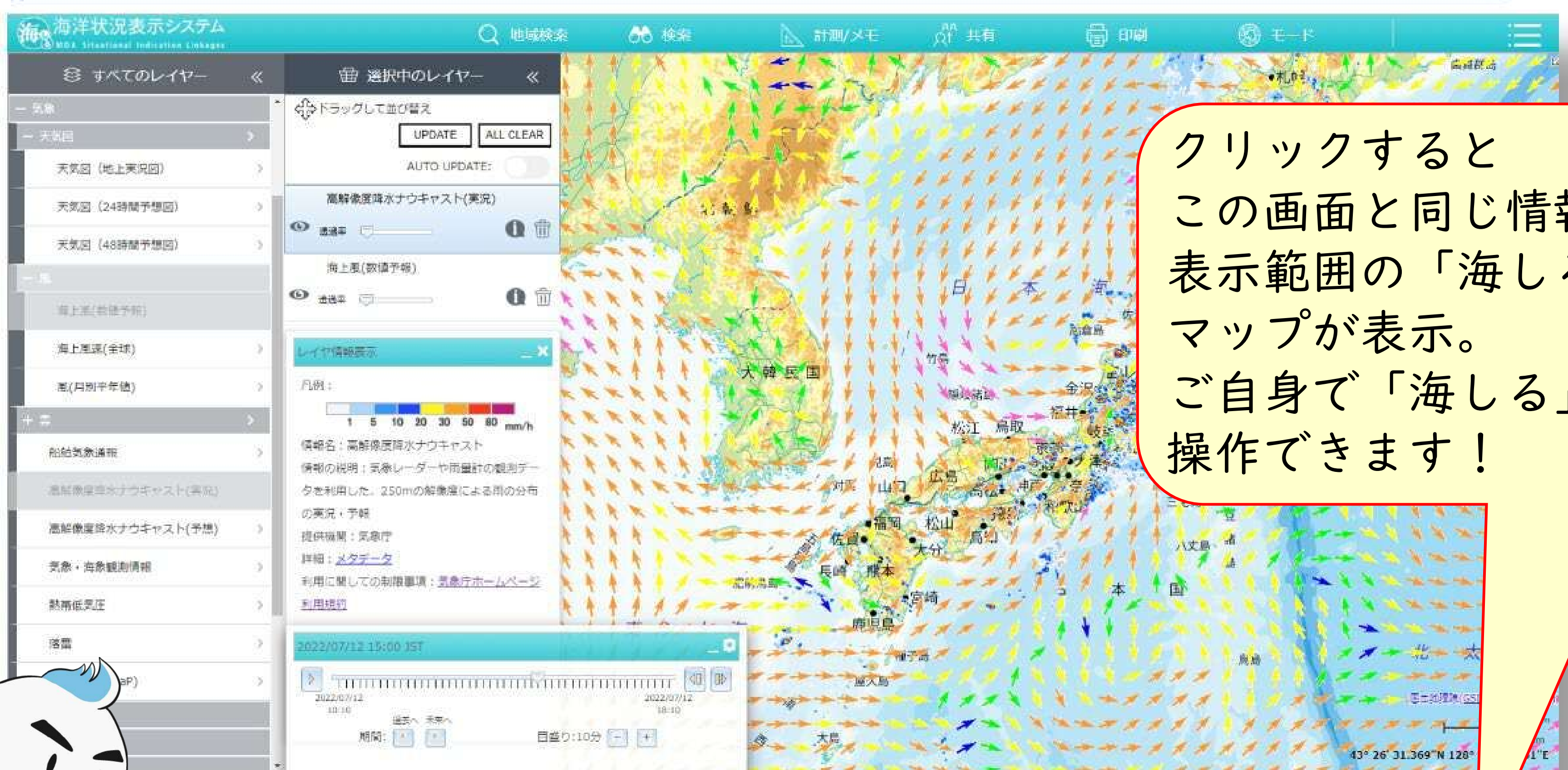
「解説画面」では、地図情報によって学習内容の理解をさらに深められるよう、その**学習単元に関連した海洋情報が表示された「海しる」マップの一例**を示してわかりやすく解説。

また、解説の下にある「海しるアイコン」をクリックすれば、**解説と同じマップが「海しる」上に表示**されます。授業で毎回「海しる」マップを作る手間もなく、スピーディにご利用いただけます。表示した「海しる」上では、**マップの拡大や情報項目の追加など実際にマップを操作**して学んでいただけます。

【「解説画面」の例（中学2年：気象の観測）】

日本周辺海域の今の風や雨の様子を海しるで確認してみましょう。

「すべてのレイヤー」から「風」→「海上風（数値予報）」を選ぶと今の風の推定値が、同じ「すべてのレイヤー」から「雲」→「高解像度降水ナウキャスト」を選ぶと今の雨の様子がわかります。スライダーを使えば過去や未来の状況もみることができます。



クリックするとこの画面と同じ情報項目、表示範囲の「海しる」マップが表示。ご自身で「海しる」を操作できます！



海しるアイコンをクリックして地図で見よう！>>>





「『海しる』海洋教育コンテンツ」について質問！ ④
 ・生徒には操作が難しくありませんか？

「『海しる』海洋教育コンテンツ」では、メニューやアイコンのクリックのみで学習を進められ、複雑な操作、データ入力はありません。

また、「海しる」マップの拡大・縮小や選択情報の追加・削除もクリックやドラッグのみで操作が可能。

生徒ご自身で身近な地域の範囲にマップを拡大したり、知りたい情報項目を追加したりできるので、グループ学習や自由研究での使用にも適しています。

【「海しる」マップ操作例】

① マップの拡大→お住いの地域の範囲を表示

(中学2年：気象の観測)

スクロールバーを上をスライドして地図の縮尺を拡大

表示レイヤー
 「高解像度降水ナウキャスト（実況）」、
 「海上風（数値予報）」

出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成、情報提供元：国土地理院、気象庁

② 情報項目の追加→等深線の情報を追加

(中学3年：自然環境の調査と保全)

「すべてのレイヤー」のメニューから追加したい情報項目を選択（ここでは地質から「等深線」を追加）

表示レイヤー
 「マングローブ」、「湿地」、「藻場」、「干潟」、
 「珊瑚礁」、
 「区画漁業権」、「定置漁業権」、「共同漁業権」
 + 「等深線」(右図)

出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp/>)より作成、情報提供元：国土地理院、海上保安庁、環境省





「『海しる』海洋教育コンテンツ」について質問！ ⑤
・質問がある時は教えてくださいませんか？

はい。今後、皆様からいただいたご意見・ご質問を参考に、さらに使いやすいコンテンツにしてまいりたいと存じますので、授業や学習時等でのお気づきの点についてお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

「『海しる』海洋教育コンテンツ」や「海しる」についてのご意見・ご質問については、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

〒100-8932

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号 中央合同庁舎4号館
海上保安庁 海洋情報部 情報利用推進課 海洋空間情報室

電話：03-3595-3613

E-mail：kaiyogis@jodc.go.jp

また、ご要望については専用のアンケートフォームを用意していますので、ご利用ください。「海しる」トップページの「海しるの要望はこちら」からお入りいただけます。

【「海しる」トップページ】 <https://www.msil.go.jp/>

